

令和3年9月6日

新型コロナウイルス感染者の発生について（第5報）

先般ホームページ上でお知らせしましたように、8月20日から27日にかけて入院患者さん7名（退院後判明2名を含む）と当院職員1名の計8名の新型コロナウイルス感染者が発生しました。当院への通院・入院の患者さん、ご家族、近隣の医療機関には多大なるご心配をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

感染された患者さんに対しては、原疾患の診療科および感染症対策チームが全力で治療に当たっており、一部の患者さんは退院や療養解除となりましたが、いまだ厳重な管理・治療の必要な患者さんもおられます。すべての患者さんが一日も早く回復されることを心より願っております。

新型コロナウイルスの感染防止対応につきましては、これまで細心の注意を払っておりましたが、このような事態を招き大変申し訳なく思っております。感染経路についてはウイルスの特性上、特定することは困難な面もあり、入院中に何らかの外部との接触機会により持ち込まれたか、あるいは入院時の抗原定量検査をすり抜けたかと推測しています。今後とも来院者の入館規制を強化し、入院患者さんの外部との接触を最小限に抑えるとともに、職員の個人防護具も追加使用するなど、より一層の感染防止に努めてまいります。

感染者が発生した病棟への新規入院はこれまで中止しておりましたが、一連の院内感染に収束の目処がついたと判断し、9月6日から再開することといたしました。院内感染が発生し、多方面の対応が必要であったことから、関係各位へのご報告が遅れましたこと、改めてお詫び申し上げます。今後とも、地域の医療ニーズに応え、患者さんが安心して医療を受けていただけますよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

高松赤十字病院

院長 西村和修